

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和4年度実績)

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C
横断的な課題	美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり				
地域重点政策	美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり				
実施機関	佐久地域振興局			所属	商工観光課・佐久建設事務所
事業名	佐久っとサイクルプロジェクト			担当課	
				電話	0267-63-3157・0267-82-8272
			E-mail	sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp sakuken-seibi@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	○長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cyclingプロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、佐久地域のビューポイント等の魅力を盛り込んだ推奨コースの作成・利活用をはじめとした取組を重層的に行うことにより、サイクルツーリズムの推進を図る。 ○佐久地域の自然や四季の彩り、地域の風土に馴染んだ風景等のビューポイントを発信、紹介することで、地域の魅力をPRし、移住・二地域居住の促進を図る。			
	現状と課題	○佐久地域は、ヒルクライム等の自転車イベントが複数定着している。また、地域のほとんどの場所で浅間連峰や八ヶ岳の眺望を楽しめ、サイクリングにとって絶好のロケーションだが、サイクリストの数は多くない。 ○全県で取り組む「Japan Alps Cyclingプロジェクト」の長野県一周ルートは、一部の市町村しか通過しない。地域全体に波及させるためには、県一周ルートの支線となる地域独自ルートが必要。 ○R3年度にアプリ「Ride with GPS」へのコース掲載やマップ作成、佐久地域産カラマツを使用したサイクルラック設置を行い、サイクリストが利用しやすい環境の整備を始めた。 ○更なる環境整備のため、コース上の市町村や飲食店等の事業者と連携が必要。 ○佐久地域は首都圏からのアクセスが良く、気軽に信州の魅力ある風景に触れることができるが、十分にPRされていない。ビューポイントを新たに発掘し情報発信することにより、美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくりを進めるとともに、地理的優位性を活かし、首都圏からの移住・二地域居住を促進する必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	○サイクリストが利用しやすい環境整備やサイクルイベントを行い、サイクルツーリズムを推進する。 ・JR小海線統括センターとの連携で、小海線に自転車を持込可能な列車運行とイベントを開催 ・車種、地形、体力等レベルに応じた推奨ルートを作成し、アプリ・ホームページ上で発信 ・代表的なルートと観光地を掲載した携帯向けマップを作成 ・佐久地域産カラマツのサイクルラックキットを作製し、休憩スポット等に設置 ○ビューポイント等の調査・発掘を行い、ビューポイントを発信する。 ・関係機関との調整、看板設置場所の決定 ・案内看板の作成 ・HP等を活用した広報			
事業期間	令和4年6月		～	令和5年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	JR小海線サイクルトレインイベント開催	小海線に自転車を持込可能な列車運行とイベントを開催	130,200		
	推奨ルート開発 サイクルマップ作成	推奨ルート開発とルート上の観光地等掲載のマップを作成	387,309		
	カラマツサイクルラック設置	佐久地域産カラマツ材を使用したラックを作製し、ルートに設置	1,512,500		
ビューポイントの発掘とその魅力発信、視点場の整備	案内看板設置	0			
	合計	2,030,009			
指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況	
	JR小海線サイクルトレインイベントの乗車率	定員の7割	定員の9割弱		
	推奨ルートを掲載したアプリ及びホームページの閲覧数	合計5,000ビュー	合計8,651ビュー	○ 達成	
	サイクルマップの佐久地域管外施設での配布箇所数	10箇所	16箇所	● 一部達成	
	サイクルラックの民間施設への設置割合	作製数の5割	作製数の6割	○ 未達成	
ビューポイントの案内看板設置	3箇所	0箇所			
事業実績・成果	【実績】	・JR小海線統括センターと連携し、小海線に自転車を持込可能な団体臨時列車運行とそれに合わせたガイドツアーイベントを開催した。県外、北信、南信地域からも参加があり、野辺山駅周辺でのサイクリングの魅力を発信することができた。 ・市町村や東信州中山道連絡協議会等の観光関係団体と連携して、経済効果や広域観光を推進するコースを作成して、自転車ルート掲載アプリ「Ride with GPS」に9コースを掲載した。 ・幅広い層への周知を行うため、代表的なコースと周辺飲食店や観光スポットを掲載した携帯サイクルマップ(紙)を10,000部作成した。県内外のサイクリストや観光客が利用する施設に配布し、広く周知を行った。 ・佐久地域のカラマツ材を使用したサイクルラック11基を作製し、全市町村のコース上に設置。地域の経済循環を図るため、飲食店や複合施設等に設置した。 ・ビューポイントへの案内看板の設置は県独自の施策であり関係市町村との調整が必要だが、承諾が令和5年3月になったことから年度内の執行ができなかった。			
	【成果】	・本取組が県内の複数メディアに掲載され、佐久地域のサイクルツーリズムの取組を周知することができた。 ・サイクルラック設置やマップで紹介することで、サイクリストの受入れを歓迎する機運醸成を図ることができた。			
今後の方向性	サイクルコースやラック設置場所を情報発信し、実際の来訪につなげる。 サイクルトレインイベントを開催し、サイクルツーリズムと小海線の新たな活用を検討する。 八ヶ岳周遊ルート作成に向けての意見交換を行い、八ヶ岳を中心に諏訪地域側との連携を図る。				